



地区の西側を走る広域農道9号線、その利便性から交通量も増加の一途。

シリーズ
23
あぶら
じま
島

地区コミュニティの先駆者



油島区長
近藤栄一さん
(54歳)

■ 月の「おじゃまします——地域情報ネットワーク」は、春のやわらかい陽差しの中、ふらりと広域農道を走りぬけるとある地区、油島地区におじゃましてみました。

ここ油島地区、地区名から察すると何か昔「油」との関連がありそうな感じのする地区名ですが、区長さんの話によると「地区的發生が古く、地区名の由来ははつきりわかりません。それに「油」との関係もないようです」とのこと。そもそもこの地区は、以前にご紹介した栄地区や新谷地区と同様、信州の僧侶「葛都坊」により切り開かれた地である。

だけでは、ちょっとわからないなんて人もいるんじゃないでしょうか!?でも、昭和60年に広域農道9号線が間手橋（巻町）まで全線開通してからは、どこへ行くにしても便利になりました。しかし、最近ではこの道路を走る車が激増したせいか、その騒音にはちょっとという感がしますけどね」と同地区について話す区長の近藤栄一さん（54歳）。

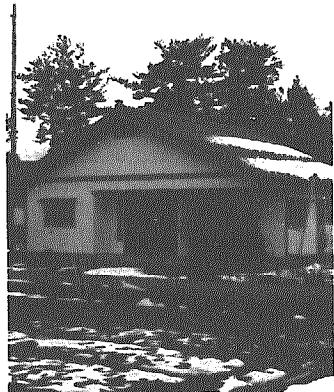
同地区、現在戸数が22戸、人口が98人と村内では小規模な集落ですが、主要産業が農業ということもあり、地区全体の面積は約45ヘクタールと広く、その農業を通じた結びつきやまとまりはとても強い地区といわれています。

ところで、油島地区というと、早くから子ども会などの活動が盛んで、親子ソフトボーリ大会などを開いたりと、地区内コミュニティ活動が活発な地区として周囲からは羨望の目でみられていました。ところが、ここ四、五年前からその活動の中心となる子どもたちが少なくなり、その活動も消滅状態とか。

「最近、どういう訳か子どもたちが少なくなったり、地区全体がちょっと淋しい感じです。でも、その反面、お母さん方の活動は以前にもまして盛んです。その代表の一つが、昭和58年からやっている弁当作り（航空防除作業員用）は、いろいろ工夫してやっているみた

油島地区 ミニデータ	
(人口と世帯)	
人口	98人
男	43人
女	55人
世帯数	22世帯

(平成2年2月1日現在)

地区内活動の拠点である油島地区
集落開発センター。

扶助金	
満16歳から64歳までの健康な人	午前10時～12時30分
保健センター	午後5時まで
□ 岩室公会堂	午時13時～14時

【受付期間】
3月1日(木)～3月15日
(木) 午前8時30分から
午後5時まで

【申し込み方法】

詳しい案内書及び応募申込書は、岩室村役場総務課にありますので請求してください。

(〒953-101 岩室村大字西中八六〇番地 ☎ 82-4111内線二二六)

【募集職種】 学校給食臨時職員
和納小学校勤務 週三日間／各名
岩室中学校勤務 週五日間／各名
【勤務期間】 平成2年4月1日から平成3年7月31日まで
【応募資格】 原則として、昭和三十年四月までに生れた人

村では、平成2年4月1日より次の要項で臨時職員を募集いたします。

学校給食調理員 募集します